



病院の概要

- 医師数（研修医を除く）73名（うち指導医数 47名）
- 研修医数 1年目 8名 2年目 8名
- 研修医の主な出身大学 福島県立医科大学・東京女子医科大学・秋田大学・山形大学・聖マリアンナ医科大学・北里大学・岐阜大学・杏林大学・群馬大学・筑波大学・セグド大学・新潟大学・獨協医科大学・大阪医科大学・埼玉医科大学
- 診療科 内科 循環器内科 呼吸器内科 消化器内科 緩和ケア内科 神経内科 小児科 外科 呼吸器外科 消化器外科 乳腺外科 整形外科 脳神経外科 産婦人科 泌尿器科 皮膚科 眼科 耳鼻咽喉科 精神科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科 病理診断科 リウマチ科 臨床検査科 腎臓内科 血液内科 糖尿病内科 救急科 泌尿器科（人工透析） 緩和ケア外科
- 1日平均外来患者数 970名 ● 1日平均入院患者数 291名
- 主な認定施設 埼玉県がん診療指定病院、日本医療機能評価機構認定病院、日本消化器病学会認定施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本プライマリケア学会認定医研修施設 等



研修プログラムの特色

当院の研修の特徴は2年間でその後の医師人生の土台となる一般診療能力を身につけられることです。内科を中心として救急、小児科、麻酔科、外科、産婦人科、精神科、地域医療、選択科をローテーション研修します。ローテーション内容は自由度があり、3年目の専攻を見据えて選択科やローテーション順などの希望に柔軟に対応します。研修を開始した最初の16週間は内科病棟で一貫した指導を受け入院してから退院するまでの基本的な診療を主体的に行うことで覚えます。2年間の研修でどの科を回っていても看護師、医療相談員、薬剤師、セラピストなどのメディカルスタッフとともにカンファレンスを行うことで患者さんに寄り添ったチーム医療を行う姿勢を身につけます。一般診療能力に必要な初期診療対応はどの科をローテーション中でも救急当直に入ること学ぶことができます。地域医療研修は同法人の中小規模病院または診療所で行いますので、一貫した研修として地域包括ケアを学び実践できます。



プログラム 例 埼玉協同病院初期総合臨床研修プログラム(募集定員8名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週
1年目▶	内科		内科			救急(麻酔科4週含む)			外科		産婦人科	
2年目▶	内科		地域医療		小児科		精神科		選択			

- ・必修 内科(32週)、救急(救急12週:麻酔科での4週間の研修を加えて合計12週の研修とします)、地域医療(8週)、外科(8週)、小児科(8週)、産婦人科(4週)、精神科(4週)、一般外来(4週・並行研修)
- ・選択(20週) 内科、救急科、地域医療、外科、小児科、産婦人科、精神科、整形外科、皮膚科、麻酔科



研修医の処遇

- 給 与▶ 1年次：約35万円/月（賞与約89万円/年）、
2年次：約39万円/月（賞与約135万円/年） ※賞与は2019年実績
- 諸 手 当▶ 住宅手当、家族手当、当直・日直手当、年末年始勤務手当
- 保 険▶ 協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり、
厚生年金基金等企業年金あり、医師賠償責任保険 病院において加入
- 勤務時間▶ 平日8時30分～17時00分 土曜日8時30分～13時00分
- 当 直▶ あり（3～4回/月）
- 休 暇▶ 4週6休、夏期休暇、年末年始休暇、特別休暇（結婚、忌引きなど）、
有給休暇（1年次10日、2年次12日）
- 宿 舎▶ なし（住宅手当：家賃の半額、上限5万円）
- そ の 他▶ 常勤採用 学会・研修会参加補助 院内保育所（病児保育）あり
健康診断2回/年 ワクチン接種

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- 臨床研修協力病院
 - ・みさと協立病院
 - ・北辰病院
- 研修協力施設
 - ・熊谷生協病院
 - ・秩父生協病院
 - ・浦和民主診療所
 - ・大井協同診療所
 - ・埼玉西協同病院
 - ・さいわい診療所
 - ・川口診療所



当院の魅力

Kyoudo PRIDE

当院は1978年の開院以来、地域医療を支える医師を育成してきました。内科病棟で受け持つ症例はバラエティに富んでおり、特に高齢の方は複数の慢性疾患を抱えながら急性期疾患で入院するケースが多いので急性期疾患にだけ着目するのではなく総合的に診療することが必要になります。当院は総合医局になっているので診療の相談をどの科の医師にも相談しやすく、指導体制としても屋根瓦方式をとっており、3～6年目の医師が研修医の相談にも乗ってくれます。手技は始め指導医の下で行い、指導医が認めれば自主的に行えるので十分な経験を積むことができます。医療知識や技術を磨くために病気を診るだけではなく、その病気を抱えた患者さんの生活背景（経済状況・住居・家族関係等）や労働環境（労働による疾病への影響）からも理解し診療を行うことで医師として患者さんに寄り添う姿勢を学んでいきます。

当院の研修を通して知識・技術・姿勢といった医師としての重要な土台を築くことで、その後どのような場所で働くことになっても埼玉協同病院で研修を行ったというKyoudo PRIDEをもって働き続けることのできる医師を養成します。



研修責任者から



研修管理委員長（病院長）

増田 剛

医師人生にとって初めての2年間をどのように過ごすかはとても大切です。知識や技能の習得は勿論ですが、医師として相応しい基本的な態度や姿勢を学び身に付けることが重要だと私たちは考えています。単に病気を診るのではなく人間を診るということ、社会的背景にしっかり対応すること、常に学習を怠らず謙虚に学び続けることなど、医師人生の土台をこの2年間で創っていただきます。当院は1978年の開院以来、一貫して地域住民の医療ニーズに応える医療を行いながら、全職種と地域住民の協力で地域で役に立つ臨床医を育ててまいりました。熱いハートを持った指導医集団と良きパートナーを育てることに心血を注げるメディカルスタッフ、そしてその活動を地域から支える住民組織が皆さんのお越しを心待ちにしております。

先輩研修医から



研修医2年目

富山 桃子

研修医全員が内科から研修をスタートし、専門科の垣根を超えて、総合力を持った上級医の下で、その患者さんの生活背景を含めて病気を診ることで、総合的な内科力を身に付けられることが魅力の一つです。研修医はとても仲が良く、レジデントカンファレンスでは自分が得た知識の共有をしたり、研修の感想や改善点を話し合い、日々の研修がより良いものとなるよう皆で高め合っています。ぜひ一緒に、人口あたり日本一医師の少ない埼玉の医療を盛り上げていきましょう！



研修医1年目

渡辺 稔

最初の総合内科病棟では右も左も分からない状態から担当患者さんを持ちます。しかし、指導医の先生を始め、多職種の方が優しく熱心にフォローして下さるため、できることが少しずつ増えて行き、医師人生の大切なスタートを切るにはとても安心です。また、しっかり事前準備をすれば手技や病状説明なども任せてもらえます。研修ローテーションも最初にどの科をいつ回るか希望を言えたり、選択科を途中変更できるのも有難いです。研修医を育てようとする雰囲気病院全体にあることを実感し、感謝する毎日です。



女性医師支援コーナー

当院では『誰もが安心して働ける職場』を目指して様々なライフイベントに合わせた働き方を応援しています。出産・育児へのサポートとして院内保育所を併設しており、病児保育にも対応しています。保育所を利用しつつ、短時間勤務制度や直当免除制度を使い育児と仕事を両立させながら自分のライフプラン・キャリアプランを考えることができます。当院常勤医師の約30%は女性医師で出産・育児をしながら活躍しています。（写真は院内保育所）



連絡先

埼玉協同病院

教育研修センター 千葉翔太

〒333-0831 川口市木曾呂1317

TEL 048-296-5822(直通) FAX 048-296-8247

E-mail skymet@mcp-saitama.or.jp

URL https://www.skymet.jp/

アクセス JR武蔵野線東浦和駅から徒歩15分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・受験を希望する場合は見学を一度はすることをお勧めします。（必須ではありません）
- ・病院見学はホームページの見学申し込みフォームより見学希望日の1週間前までにお申し込みください。
- ・大学授業などの関係上見学ができない場合はオンラインでの研修説明も可能です。